

金星の太陽面通過

6月6日(水)曾爾中学校で【金星の太陽面通過】の観望会がありました。

金星の通過とは、地球から見て太陽の手前を金星が通り過ぎるために起きる現象です。前回の通過は2004年で、その日は全国的に曇りだったそうです。ですが、この6月6日は青空が広がり、良い天気となりました。



詳しい通過時刻は7時10分～13時47分までで、金星は太陽の東から西へ通過します。

生徒は休み時間などに「曾爾中日食グラス」をかけて観望しました。実際に見てみると、金星は肉眼で見られるか見られないかくらいの点に見えました。

次の金星通過は105年後の2117年の12月11日で、この日は今世紀最後のチャンスだったようです。

その他にも地球の内惑星である水星も通過するようですが、金星より小さい点は眼では完全に見えないようです。

感想

- ものすごく小さかったけど本当に太陽を通り過ぎていくようでした。すごかった。
- 105年後まで生きてもう一度通過を見たいと思わされた。
- 6時間後に見てみるともう通過が終わりそうでビックリしました。

(ふるさと発信 情報局員 大西智也)